



ARCHITECTURE REVIEW



建築見て歩記 その86 ロスト安藤建築1

左は京都のカフェ「モンブティッシュ」(1985年) 右は「アサヒビール神奈川工場」(2002年)です。カフェは一見平屋ですが、地階に庭に面した開放的な吹抜がありました。ビール工場は見学可能で飲食施設もありましたが、2023年閉鎖されました。



CURRENTLY WORKS



調剤薬局の新築移転 その4 … 天井の高い心地よい待合空間 設計段階で、一部のみ二階建とし、それ以外を天井の高い空間としたいと考えていました。どの程度の高さが相応しいかの熟考の後、選択したのは3,600mmでした。普通あまり意識する事のない天井ですが、視線が上に向くような壁面のデザインを設え、天井面には照明器具を付けない仕様としました。間接照明で照らされた天井は、浮遊感を纏っています。

PRIVATE TOPICS



藤原のこだわり その18

京都市西京区にある「地藏院」です。この寺は周囲を竹林で囲まれていることから、別名「竹の寺」とも呼ばれています。臨済宗の寺ですがもともとは歌人の藤原家良の山荘だったところです。竹の寺とは言ってもそれだけではなく、もみじ・苔の絨毯など、緑と紅葉のコントラストも非常に美しい境内です。また枯山水庭園「十六羅漢の庭」も有名です。

EDITORIAL NOTE

9月には「中秋の名月」を楽しむ「お月見」という風習があります。元々中国伝来の文化だそうですが日本では、翌日の月を「十六夜(いざよい)」と呼び楽しむようになりました。不完全なものを愛でる我が国独特の文化だと思います。また翌月の「十三夜」も見るべき月で「後の月」と呼ばれています。

編集担当：太田・藤原、監修：岡島